

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

特別支援員設置事業

事業の経過・背景・課題

特別支援学級の在籍者数、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を要する児童生徒数は増加傾向である。様々な教育的ニーズへの対応や多様な場での学びを実現するための支援や対応が学校に求められている中、通級による指導など、適切な指導や必要な支援を行うための校内支援体制を充実させる必要がある。

取組内容

交付実績額： 2,154 千円

- ・児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな支援を実現するため、小中学校に特別支援員を配置
- ・与謝野町特別支援委員会において、適切な指導、助言及び教育的支援等特別支援教育に関する検討を行う。

事業の成果・今後の展望等

特別支援員の配置により、個々の認知特性や教育的ニーズを的確に把握し、「個別最適化した学び方」や「指導の個別化」を進めることが出来た。引き続き、学級満足度調査（※）を活用した制度の高いアセスメントを基にした支援を行うことで、誰もが安心して学べる学級経営と、すべての児童生徒が「できる実感」がもてるユニバーサルデザイン化された授業づくりに努める。

（※）学級満足度調査（Q－U）

早稲田大学の教授が開発された心理テスト。各児童生徒の意欲や満足度、学級集団の状態を検査することができるもので、教師の考えている現状と実態のズレを把握することや、不登校・いじめ被害も早期発見することができる。

この結果を基に、教師はこれまでの指導を見直し、問題解決に向けて学級経営や授業改善を行っている。与謝野町では、全児童生徒を対象に年２回実施。また、その結果を基に、学級満足度調査活用推進委員会を年に４回開催。その中で研修（講義・演習）を行い、本調査をしっかりと活用することができるように努めている。